

## 基調講演

# 東北方言の魅力を語る

## —気仙沼方言を通して—

小林 隆（東北大学方言研究センター）

気仙沼には長年にわたり方言調査でお世話になっています。本日は、これまで市民のみなさんに教えていただいた気仙沼方言の特徴をもとに、東北方言の魅力を語ってみたいと思います。みなさんも、日ごろお使いになるご自身の方言を思い出しながらお聞きください。

私の見るところ、気仙沼方言を通して見た東北方言の魅力は、次のような点にあるのではないかと思います。

**その1：**東北方言は日本語の歴史の宝庫である。

**その2：**東北方言は気兼ねのいらぬ会話ができる。

**その3：**東北方言は感性豊かな表現が発達している。

以下、順番にお話ししていきます。

### 1. 東北方言は日本語の歴史の宝庫である

東日本大震災のあと、東北大学方言研究センターでは、気仙沼の方言を日常会話の姿で記録する作業を行ってきました。現在、約 150 場面の収録が終わっており、センターのホームページ「東日本大震災と方言ネット」(<https://www.sinsaihougen.jp/>) や書籍『生活を伝える方言会話』（ひつじ書房、2019）で公開しています。

この会話資料を見ると、そこには古典の文学作品に出てくるような歴史的な日本語が、たくさん使われていることがわかります。その中からいくつか紹介していきます。



東北大学方言研究センター  
『生活を伝える方言会話』

#### (1) メンコイ

##### 1-25. 約束の時間に遅刻する

009A：ンダネー。ダイジョブダネー。（B ウン）ウーン。マゴーネ  
そうだね。大丈夫だね。（B うん）うん。孫 ね

メンコイカラネー、Bサン（B ウン ハイ）サドマゴデ  
可愛いからね、 Bさん（B うん はい）かわいい孫で

ナメテンデネ、                      マイニチ。  
舐めているんじゃない、毎日。

010B：ンダ。    ンデア  
          そうだ。それじゃあ

#### 【古典の例】

- ・父母を見れば尊し 妻子（めこ）見れば **めぐし**愛（うつく）し 世の中は  
かくぞことわり（『万葉集』）

### (2) ナゾスッペ

#### 1-25. 約束の時間に遅刻する

004B：マッタベー。  
          待ただろう。

005A：ンダカラ。ナーンダガ    オソグナッタガラ **ナゾスッペ**トオモッテー。  
          そうだよ。なんだか    遅くなったから    どうしようと思って。

#### 【古典の例】

- ・見れば、世間心細く哀れに侍る。**なでう**物をかなげき侍るべき（『竹取物語』）

### (3) アバイン

#### 2-33. 足をくじいた相手を気遣う

009A：ホンデ              カダ    カシテケンネベガ。  
          それで[は] 肩    貸してくれないだろうか。

010B：ウン。ンデッサ（A    ウン）ソゴノ    オレア    カドニネ（A    ウン）オレノ  
          うん。それでさ（A    うん）そこの    ほら    角にね    （A    うん）私の

          シリアイ    イッガラ、ソゴマデ **アバイン**。  
          知り合い    いるから、そこまで    歩きなさい。

#### 【古典の例】

- ・われと知られじと抜き足に**あゆみ**給ふに（『源氏物語』）

### (4) サ

#### 1-65. 友人が帰ってくる

001A：アラ    Bサン    ビシット    キメデ    ドコ**サ**    イッテキタドコダカ。  
          あら    Bさん    びしっと    決めて    どこに    行って来たところだか。

002B：イマサ    ホレ    **シャデ**ノー    ムスコー    アノー    オイワイカイダッテッサ。  
          今ね    ほら    うちの弟の    息子    あの    お祝い会だっていうんです。

【古典の例】

- ・色々の衣どものこぼれ出でたるを押し入れなどして、北の陣**さま**にあゆみ行くに（『枕草子』）

(5) シャデ

※会話は(4)の例

【古典の例】

- ・舎弟の彌五郎是を敵に見せじと、矢面に立隠して（『太平記』）

(6) トゼンダ

※八木澤亮（2018）「方言語彙「トゼン」類」東北大学方言研究センター『被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開』東北大学文学部国語学研究室、八木澤亮（2018）「方言語彙の語源と歴史」小林隆編『シリーズ日本語の語彙8 方言の語彙』朝倉書店

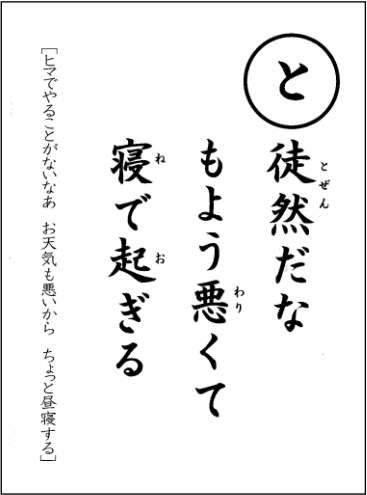
| 話者   | 意味（自由回答）                                                   |
|------|------------------------------------------------------------|
| 話者 A | ①たいくつだ<br>②ひとりぼっち、孤独                                       |
| 話者 B | ポツンとひとり。相手がいなくてさびしい。所在ない                                   |
| 話者 C | 1人でポツンとしている。似たことばに「ひまったれ」（＝ひまがある）<br>そのような状況にある人の気持ちを表すことば |

【古典の例】

- ・つれづれなるままに、日くらし硯にむかひて、心にうつりゆくよしなし事を、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。（『徒然草』）
- ・余りに何とやらん心細そうて**徒然なる**にとぞ仰せられける。（『平家物語』）



東北方言における「トゼン」の分布



ば!ば!ば!プロジェクト  
『気仙沼弁ご当地かるた』

東北方言には、このように古典文学の言葉、すなわち、遠い昔の都言葉（みやことば）が今でも使われています。タイムマシンでしか行けないような古い時代の日本語が現代に生き、話されているとすれば、それは非常に貴重です。古典文学が日本文化の結晶であるように、東北方言もまたかけがえのない伝統文化と言えるでしょう。古典文学の写本に国宝や重要文化財に指定されたものがあるのなら、東北方言の話し手のみなさんは、さしずめ人間国宝ということになるはずです。

## 2. 東北方言は気兼ねのいらない会話ができる

東日本大震災が起こったとき、ここ気仙沼にも全国からたくさんの支援者が駆けつけてきました。ところが、それらの支援者の中には、気仙沼の方言がわからなくて困ったという人たちもいたようです。東北大学方言研究センターでは、そうした支援者と地元の人たちとのコミュニケーションギャップの実態を調査し、問題解決のために、支援者に気仙沼方言を紹介するパンフレット『支援者のための気仙沼方言入門』を作成しました。

このパンフレットでは、いわゆるズーズー弁的な発音の特色や、「捨てる」の意味の「ナゲル」や、「しんどい・苦しい」といった意味の「コワイ」などの単語を紹介していますが、実は、パンフレットに盛り込めなかった内容もあります。それは、コミュニケーションの取り方に関するものです。

支援者が感じたコミュニケーションの違和感をインタビュー調査から紹介しましょう。

**エピソード 1**（横浜出身の介護士）：避難所で活動しているが、こちらが「おはようございます」と声をかけても、地元の人たちは「おはよう」と返してくれない（「早いね、もう来たの」と言う）。ずいぶん違う土地に来たんだと思った。

**エピソード 2**（新潟出身の保健師）：避難所の一室で血圧測定をしていると、「ケツアツー！」と大声で言いながら入ってくる男性がいた。「用件わかっているでしょ」といった感じで。

エピソード 1 は、共通語では当たり前の定型的な挨拶がかならずしも気仙沼では行われていないことを示唆しています。エピソード 2 は、時と場合を選ばず簡潔で率直な言い方がなされることが、気仙沼ではあり得ることを意味しています。

これは、何も特別なケースではなく、実際そういうコミュニケーションの取り方を、気仙沼の人たちがしているのではないかと思います。東北大学方言研究センターが収録した方言会話を見てみましょう。



東北大学方言研究センター  
『支援者のための気仙沼方言入門』

**(1) 朝、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか**

- 001A : アレー ドゴサ イク° ノー。  
あれ どこへ 行くの。
- 002B : スコ° ドスサ。 イマ ヒョーバイデ イク° ドゴ。  
仕事しに。 今 商売で 行くところ。
- 003A : アー ホント。 ア ンデ イッテダイン。  
ああ 本当。 あ それで[は] 行ってらっしゃい。
- 004B : ハイ マイド ドーモネー。  
はい 毎度 どうもね。
- 005A : ハイー。  
はい。

これがお昼だと次のようになります。

**(2) 昼、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか**

- 001A : アレ オヒルダネー。 オヒル タベダノスカー。  
あれ お昼だね。 お昼 食べたんですか。
- 002B : マダダー。  
まだだ。
- 003A : ンデー ハヤグ タベデー オヒルネスライン。  
それでは 早く 食べて お昼寝してください。
- 004B : ハイ アリカ° トー。  
はい ありがとう。
- 005A : ハイー。  
はい。

いずれの会話にも「おはよう」「こんにちは」といった挨拶言葉は出て来ません。代わりに、「ドゴサ イク° ノー」「オヒル タベダノスカー」と相手の行動を確認するような会話が交わされています。杓子定規な挨拶は抜きにして、相手の懐にぐぐっと入り込むような雰囲気です。他地域の人たちからすれば、余計なお世話と言われそうな会話が、気仙沼では普通に交わされているのです。

「ケツアツー！」のようなストレートな言い方については、ほかにも東京や長野、神戸の支援者から、気仙沼の人は「端的で単刀直入な言い方をする」「ボンと飾り気のない言葉遣いだ」といった感想が聞かれました。上の会話でも、お昼の会話で、まだ昼食を済ませ

ていないBさんに対して、Aさんが「ハヤグ タベデー オヒルネスライン」と指図をしています。「ケツアツー！」ほどでないにしても、ずいぶん率直な言い方に感じます。共通語では、そもそもこうした指図めいたことは控えられるのではないかという気がします。

以上のような会話のスタイルは、気仙沼という土地が、気心の知れた者同士が暮らす社会だからではないかと思われます。親しい間柄では、社交辞令は必要がありません。飾った言葉、気取った言葉で会話の表面を取り繕う必要もなく、用件が伝われば直接的な言い方でもかまいません。逆に、互いのことをよく知り合い、気にかけて合うことが大切で、そのため、相手の懐に入り込むような会話の仕方になるのです。

こうした会話のスタイルをどう考えるかは意見が分かれるところでしょう。しかし、言葉遣いで神経をすり減らすよりは、ある意味人間のありのままの姿で暮らしていけるという安心感は大きな魅力であるはずです。広島から来たボランティアが、「気仙沼の人たちは懐に入ると気を使わなくてよい気安さがある」と言っていました。私はなるほどと納得しました。親密で気の置けない人間関係は、気兼ねのいらぬ率直な言葉づかいによって保たれていると言えるかもしれません。

### 3. 東北方言は感性豊かな表現が発達している

菅原孝雄さんの『けせんぬま方言アラカルト』（増補改訂版、2006年、三陸新報社）は私の愛読書です。パラパラとめくってみると、オノマトペ（擬態語）がたくさん載っていることに気が付きます。少し、引用してみましょう。

**あふらあふら** あふらとふらとも。ふらふらして  
元気がないさま。「この暑さで**あふらあふら**  
なんねえ方がおがすい」

**ぐずらもずら** ぐずぐず。もたもた。はっきりし  
ないさま。「**ぐずらもずら**すてねえでさっさと  
行ってこいや」

**ごうごっと** ごうくととも。早く。さっさと。「みちくさくってねえで**ごうごっと**家さ  
帰らえんよ」

**ささらさっと** 大ざっぱに。大まかに。「その話だら**ささらさっと**聞いてきた」

**ずるりべったり** だらだら長引くさま。「**ずるりべったり**も程々に」

**ねっくねっく** ねくねく。お金などが豊かにある様子。儲けてたまらない。「なんとあ  
そごの旦那はん株で**ねっくねっく**なんだど」

**のへのへど** 平気な顔して。図々しく。「**のへのへど**商店街歩いでだっけ」

**のんのん** 水かさのんのん雪のんのん。雨台風のあとや大雪などの表現。「なんと**のん  
のん**ど…。よぐ川の水が出だなあ」



菅原孝雄  
『気仙沼方言アラカルト』

**はかはか** 息切れするさま。どきどきする。「あの坂上って来たっけ**はかはか**になったやあ」

**びろがろ** 衣服の着方がだらしないこと。「いつまで**びろがろ**ってんだべ」

**ぼえらぼっと** ぼっぼらぼっとも。だしぬけに。突然。不意に。「あそご通ったっけ**ぼえらぼっと**犬に吠えられだやあ」

気仙沼には実に多様でユニークなオノマトペが使われていることがわかります。共通語なら「ふらふら」と言うところを「あふらあふら」、「ぐずぐず」と言うところを「ぐずらもずら」というふうに、気仙沼のオノマトペは音の表情がたいへん豊かです。共通語に比べ、その場の様子が彷彿（ほうふつ）と目に浮かぶ感じがします。

対応する共通語には下線\_\_\_\_を引いておきましたが、よく見ると共通語が示されていないオノマトペもけっこうあることに気がきます。それらはうまく対応する共通語のオノマトペが見つからなかったのでしょうか。しかし、この点は重要です。それは、共通語では一般的な言葉で済ませるところを、気仙沼ではオノマトペで表現する傾向があることを意味するからです。共通語なら「大ざっぱに」と言うところを気仙沼では「ささらさっと」と言う、同様に、「お金が豊かだ」ということを「ねつくねつく」、「水かさの増した川の流れ」を「のんのん」、「衣服がだらしないこと」を「びろがろ」などと、説明的な言葉ではなく、オノマトペで表現しようとするわけです。

オノマトペを使うと何がよいのでしょうか。それは、一般的な言葉に比べ、その場の様子を生き生きと映し出すことができる点です。また、聞く人の感性に訴えかけ、感覚的にその場の様子を思い描いてもらうこともできます。頭で理解するのではなく、耳で理解するといってもよいでしょう。話す側と聞く側が、共にその場に一緒にいるかのような雰囲気になれる、つまり、互いに共感し合うことにオノマトペは一役買っているのです。

「共感」というキーワードは東北方言にとって重要です。東北方言はその根底に「共感」を大切にする姿勢が貫かれています。この点は、オノマトペのような感覚的な表現だけでなく、感動的な表現についても言えます。

次は、『生活を伝える方言会話』から、福引の大当たりの場面です。

### 3-9. 福引の大当たりに出会う

006 調：ハイ。ツギノカタ ドーゾー。  
はい。次の方 どうぞ。

007 B：ハイ。ヨッ。{抽選機を回して玉が出た音} オッ。  
はい。よっ。{抽選機を回して玉が出た音} おっ。

008 A：オーッ。  
おお。

009 調：オメデトーゴザイマス。オンセンリョコー  
おめでとうございます。温泉旅行

アタリマシター。{鐘を鳴らす音}  
当たりました。 {鐘を鳴らす音}

010B : オー——。{笑いながら手を叩く音}  
おお。 {笑いながら手を叩く音}

011A : オー——。{手を叩く音} アラー イーコードー。  
おお。 {手を叩く音} あら いいこと。

012B : ゴメーン。  
ごめん。

013A : アラー イーゴド。  
あら いいこと。

014B : イヤーヤーヤーヤーイヤー。  
いやいやいやいやいや。

015A : アラー— {手を叩く音} イーゴドイーゴド。  
あら {手を叩く音} いいこといいこと。

016B : アー— {手を叩く音} イガッタイガッタ。  
ああ {手を叩く音} よかったよかった。

017A : イアー— ナント——。  
いや なんと。

018B : ホンデア キョー、ウン。ナンダガ ユーベネー、ユメミ  
それでは 今日、 うん。なんだか 昨夜ね、 夢見  
イガッタノッサ。  
よかったのさ。

019A : アダルヒトニワ アダダネー。  
当たる人には 当たんだね。

020B : イヤーヤーヤーヤ。ドーモネ。  
いやいやいやいや。どうもね。

たいそうな驚きようです。大当たりを引き当てた当人の驚きや喜び、恐縮、居合わせた人の賞賛や羨望、そうした心の動きが感動表現の多用・繰り返しによって幾重にも表現されています。一方の話者の感動表現に対してもう一方の話者も感動表現で応じており、感動表現の応酬とでもいうべき掛け合いが繰り返されています。共通語の感覚からすると、ちょっと大げさな印象もありますが、気仙沼ではこれが当たり前で、こういうやりとりをすることで互いに共感合っているわけです。

いや、これは特別な場合で、日頃はそんなに驚いてばかりいないぞ、と思われるかもし



れません。しかし、例えば、次のような何かを人に頼むというごくありふれた日常場面でも、気仙沼では感動的な表現が使われやすいのです。「モライスギタヤー」の「ヤー」をはじめ、「ナースト」「バー」「イヤイヤ」「アラララ」など、心の声が言葉になって発せられています。

### 1-1. 荷物運びを頼む

001A : Bサン アダシ コレ サンマ モラッテ、イッパイ  
Bさん 私 これ さんま もらって、いっぱい

モライスギタヤー。  
もらいすぎたよ。

002B : ナースト ドッサリデー。  
なんと どっさりで。

### 1-2. お金を借りる

001A : Bサン アダシ コマッタヤー ナント イマ サイフ ミダッケ  
Bさん 私 困ったな なんと 今 財布 見たら

コレ オガネ タンネノッサー。  
これ お金 足りないのさ。

002B : バー アンタ ズイブン イソガシグ デテジタネー。  
えー あなた ずいぶん 慌てて 出てきたね。

### 1-3. 役員を依頼する

001B : イヤイヤ コマッタヤー。チョーナイカイノ Xサンカ° カバネ  
いやいや 困ったな。 町内会の Xさんが 体

コワシテシマッテッサ。  
壊してしまっさ。

002A : アララララ。  
あらららら。

これらの場面はいずれも相手に何かを頼む場面ですが、相手に自分のたいへんさを感情的に訴えかけ、頼まれた側もそれに感情的に応じることで共感を生み出していると考えられます。気仙沼では、依頼交渉の成立のために、話者同士が互いに感動的なやりとりをすることが大切なのです。

上の会話で「バー」という感動詞が登場していました。この「バ」は気仙沼を代表する方言の一つで、よく耳にします。気仙沼市民にたいへん愛されているようで、観光土産にも取り入れられています。

以前、この「バ」の使い方について調査したことがありますが、そのときに気仙沼のみ



仲間内の会話では、共通語で話すより、気兼ねのいらぬ方言を使った方が気持ちを通じ合えるはずです。多彩なオノマトペや感動詞を使えば、表現力に磨きがかかり、話の効果が抜群にアップすることまちがいないです。方言は、みなさんの日々の生活を豊かなものにしてくれる存在と言っても過言ではないのです。

さて、気仙沼方言、東北方言の魅力について、長々とお話ししてきました。会場からは、「そんなことはとっくに知っていたよ」という声が返ってきそうです。私のお話は以上にしたいと思います。

## 参考文献

- 大野眞男・小林隆編（2015）『方言を伝える—3.11 東日本大震災被災地における取り組み—』ひつじ書房
- 小林隆編（2012）『宮城県・岩手県三陸地方南部地域方言の研究』東北大学大学院文学研究科国語学研究室
- 小林隆・新井小枝子・今村かほる・大野眞男・杉本妙子・半沢康編（2020）『実践方言学講座』全3巻、くろしお出版
- 小林隆・澤村美幸（2014）『ものの言いかた西東』岩波書店（岩波新書）
- 小林隆・志村文隆・櫛引祐希子・遠藤仁・武田拓・澤村美幸（2013）『とうほく方言の泉—ことばの玉手箱—』全3巻、河北新報出版センター
- 菅原孝雄（2006）『けせんぬま方言アラカルト』増補改訂版、三陸新報社
- 東北大学方言研究センター（2012）『方言を救う、方言で救う—3.11 被災地からの提言—』ひつじ書房
- 東北大学方言研究センター（2019）『生活を伝える方言会話—宮城県気仙沼市・名取市方言—』ひつじ書房
- ば!ば!ば!プロジェクト（2019）『気仙沼弁ご当地かるた』気仙沼観光コンベンション協会